

# 土砂・浸水避難地図(ハザードマップ)の見方

～確認して風水害に備えましょう～

問い合わせ 総務課 592119

**避難地図に記載されていること**

**土砂災害警戒区域**  
がけ崩れや土石流などの土砂災害によって被害を受ける恐れのある箇所のうち、宅地又は今後宅地となる可能性のある区域で、県が地形や地質、土地の利用状況などを調査し、指定したものです。特に建物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域を、「土砂災害特別警戒区域」としています。

この区域は、指定のない区域よりも危険性が高いことを地域の皆さんに周知することにより、日ごろの備えと早めの避難といった防災意識の高揚を図ることを目的としたもので、区域に含まれていないからといって、土砂災害が発生しないとは言えません。

## 浸水想定区域

市内を流れる小瀬川、恵川、大膳川、新町川で、河川が氾濫した時の浸水想定区域や浸水深を表示している降水量は、次のとおりです。

○ 恵川・大膳川・新町川  
50年に1回程度発生すると考えられている規模の大暴雨で、1日の総雨量280ミリメートル(ルース台風の時の1日の総雨量189ミリメートルの約1.5倍)

○ 小瀬川  
100年に1回程度発生すると考えられている規模の大暴雨で、1日の総雨量250ミリメートル

ただし、想定を超える規模の降雨があった場合、浸水想定区域に含まれていない箇所でも浸水災害が発生する恐れがあります。

## 避難場所

この度の、「土砂・浸水避難地図」の作成にあたり、市の避難場所を見直しました。お住まいの地域の避難場所を確認してください。

また、市内全域の避難場所については、市ホームページに掲載しています。

## 自発的な情報の入手で被害の軽減を

大雨や土砂災害に関する情報などは、テレビやラジオを通じて入手することができます。また、市からは防災行政無線や広報車などによって災害情報や避難情報を提供します。さらに、県は、雨量や水位、気象警報などの防災情報をホームページで公開しているほか、メールによる情報通知サービスも提供されています。

いざという時、降雨の状況や河川の水位などの情報を知っておくことは、被害の軽減に大変役立ちますので、気象情報や防災情報を積極的に入手して、早めの避難を心がけましょう。

## 防災情報の入手方法

### 【大竹市役所ホームページ】

#### ■防災・災害情報

- ・災害への備えについて
- ・災害時の市の体制について
- ・防災行政無線での放送内容について
- ・全国瞬時警報システム(ジアラート)について
- ・り災証明について
- ・自主防災組織についてなど

<http://www.city.otake.hiroshima.jp/bousai/>

### 【広島県防災Web】

#### ■防災気象情報

#### ■雨量・水位情報等

<http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/hdis/>

### 【広島県防災情報メール通知サービス】

■雨量・水位観測情報、洪水予報や土砂災害警戒情報などの情報をメールでお知らせするもの。

<http://www.bousai-mail.pref.hiroshima.lg.jp/home.jsp>

### 【川の防災情報】

#### ■雨量・水位

#### ■洪水予報等

<http://www.river.go.jp/>



## 避難する時の注意事項

- ヘルメットや防災頭巾で、頭を保護しましょう。
- 隣近所の人には声をかけ、一緒に避難しましよう。
- 服装は、行動しやすいもので、長袖・長ズボンを着用しましょう。
- 靴は、底の厚い履きなれたものを使いましょう。長靴は水が入ると動きづらくなります。

**避難地図の活用例**

①自分の家や地域の危険箇所の位置を確認する。

②自分の家から避難場所までの経路を確認する。

③実際に避難経路を歩いてみる。

家族や地域で話しあった内容や、地域で得た情報を避難地図に実際に書き込むことにより、より使いやすいものになります。災害発生時に安全かつ迅速に避難することができるよう、日ごろからこの避難地図を活用しましょう。

## 避難地図の活用

土砂災害や洪水などの災害による被害を最小限にするために、家族でいざという時の緊急連絡先や最寄りの避難場所、家族の集合場所、避難する際の心がけなどについて話し合い確認をしておきましょう。